

2023年(令和5年度)各大会枠数

日本学生卓球連盟事業実施細則

第8条 全日本大学総合・団体の部、全日本大学総合・個人の部の枠数決定方法(登録人数比例枠数)

1. 基本総枠数

無条件出場を除いた全日本大学総合・団体の部、全日本大学総合・個人の部の出場枠数を決定する。なお、基本総枠数は下の表の通りである。

	男	女
全日本大学総合・団体の部	40	40
全日本大学総合・個人の部(S)	200	150
(D)	100	75

2. 指数算出

前年度日学連男女各総登録人数(男女各総加盟校数)を各大会基本総枠数で割り、指数を算出する。但し、この場合小数点第3位を四捨五入して小数点第2位を算出しそれを指数とする。

前年度日学連男女各総登録人数(男女各総加盟校数)÷各大会基本総枠数＝指数

令和4年度登録数

学連名	加盟校数	男子	女子	登録人数	男子	女子
北海道	34	22	12	302	234	68
東北	31	17	14	386	292	94
北信越	27	16	11	368	294	74
関東	147	79	68	2,081	1,538	543
東海	53	28	25	739	519	220
関西	88	47	41	1,108	775	333
中国	43	23	20	470	376	94
四国	18	11	7	202	155	47
九州	47	28	19	505	393	112
合計	488	271	217	6,161	4,576	1,585

各大会指数

	男子	女子
インカレ	6.78	5.43
全日学S	22.88	10.57
全日学D	45.76	21.13

3. 各学連枠数の算出

前年度各学連男女各登録人数(男女各加盟校数)を指数で割る。この場合も、小数点第3位を四捨五入して小数点第2位を算出し、それを各学連枠数とする。

4. 前年度全日本大学総合・個人の部ランキング半数分の上乗せ

前年度全日本大学総合卓球選手権大会・個人の部において各学連からランキング入りした人数、又は組数の半数分(シングルス・ダブルス別に)を「3. 各学連枠数の算出」で算出した全日本学生の値に上乗せする。

各学連枠数

学連名	インカレ男子	インカレ女子
北海道	3.24	2.21
東北	2.51	2.58
北信越	2.36	2.03
関東	11.65	12.52
東海	4.13	4.60
関西	6.93	7.55
中国	3.39	3.68
四国	1.62	1.29
九州	4.13	3.50

学連名	全日学男S	ランク半数	合計	全日学女S	ランク半数	合計
北海道	10.23		10.23	6.43		6.43
東北	12.76		12.76	8.89		8.89
北信越	12.85		12.85	7.00	0.5	7.50
関東	67.22	6.0	73.22	51.37	4.5	55.87
東海	22.68	1.5	24.18	20.81	1.0	21.81
関西	33.87	0.5	34.37	31.50	2.0	33.50
中国	16.43		16.43	8.89		8.89
四国	6.77		6.77	4.45		4.45
九州	17.18		17.18	10.60		10.60

学連名	全日学男D	ランク半数	合計	全日学女D	ランク半数	合計
北海道	5.11		5.11	3.22		3.22
東北	6.38		6.38	4.45		4.45
北信越	6.42		6.42	3.50		3.50
関東	33.61	3.0	36.61	25.70	3.5	29.20
東海	11.34		11.34	10.41	0.5	10.91
関西	16.94	1.0	17.94	15.76		15.76
中国	8.22		8.22	4.45		4.45
四国	3.39		3.39	2.22		2.22
九州	8.59		8.59	5.30		5.30

5. 各学連の最低枠数

各学連の最低枠数は、全日本大学総合・団体の部は男女各2、全日本大学総合・個人の部は、シングルス男女各8・ダブルス男女各4以上とする。

6. 各学連の枠数最大減少幅

全日本大学総合・個人の部における各学連の枠数は、前年度よりシングルス男女各4・ダブルス男女各2以上減少することはない。

7. 小数点の調整

全日本大学総合・団体の部については、小数点の上位から優先する。

全日本大学総合・個人の部については、常任幹事会で検討し理事会の承認を得る。

●全日本大学総合・団体の部、枠数

- ①2ページのインカレの枠数を小数点第1位を四捨五入して整数化する。(表1)
- ②「5. 各学連の最小枠数」の規定により、四国の1.29(女子)の枠数を、「1」→「2」とする。
- ③合計を40にするため、
 '女子の九州の3.50の「4」を「3」に、関東の12.52の「13」を「12」に、
 関西の7.55の「8」を「7」に、それぞれ切り下げる。

表1

学連名	インカレ男	インカレ女
北海道	3	2
東北	3	3
北信越	2	2
関東	12	13
東海	4	5
関西	7	8
中国	3	4
四国	2	1
九州	4	4
合計	40	42

⇒

表2

学連名	インカレ男	インカレ女
北海道	3	2
東北	3	3
北信越	2	2
関東	12	12
東海	4	5
関西	7	7
中国	3	4
四国	2	2
九州	4	3
合計	40	40

参考資料(令和4年度枠数)

各学連	男子	女子
北海道	3	2
東北	3	3
北信越	2	2
関東	12	12
東海	4	4
関西	7	8
中国	3	4
四国	2	2
九州	4	3
合計	40	40

●全日本大学総合・個人の部、枠数

①3ページの全日学の枠数を小数点第1位を四捨五入して整数化する。(表1)

②北海道の女子シングルス・ダブルス、
四国の男子シングルス・男子ダブルス・女子シングルス・女子ダブルスを、
最低枠数の規定により、それぞれ、シングルス8、ダブルス4とする(表2)

③最終的には常任幹事会・理事会の承認を得て決定する。

表1

学連名	全日学男S	全日学男D	全日学女S	全日学女D
北海道	10	5	6	3
東北	13	6	9	4
北信越	13	6	8	4
関東	73	37	56	29
東海	24	11	22	11
関西	34	18	34	16
中国	16	8	9	4
四国	7	3	4	2
九州	17	9	11	5
合計	207	103	159	78

↓

表2

学連名	全日学男S	全日学男D	全日学女S	全日学女D
北海道	10	5	8	4
東北	13	6	9	4
北信越	13	6	8	4
関東	73	37	56	29
東海	24	11	22	11
関西	34	18	34	16
中国	16	8	9	4
四国	8	4	8	4
九州	17	9	11	5
合計	208	104	165	81

参考資料(令和4年度枠数)

学連名	全日学男S	全日学男D	全日学女S	全日学女D
北海道	10	5	8	4
東北	14	7	9	5
北信越	13	7	8	4
関東	71	35	54	28
東海	26	13	22	11
関西	34	17	32	16
中国	17	8	11	6
四国	8	4	8	4
九州	16	8	10	5
合計	209	104	162	83

'2023年(令和5年度)各大会枠数 (案)

	インカレ		全日本学生			
	男子	女子	男子S	男子D	女子S	女子D
北海道	3	2	10	5	8	4
東北	3	3	13	6	9	4
北信越	2	2	13	6	8	4
関東	12	12	73	37	56	29
東海	4	5	24	11	22	11
関西	7	7	34	18	34	16
中国	3	4	16	8	9	4
四国	2	2	8	4	8	4
九州	4	3	17	9	11	5
合計	40	40	208	104	165	81

※無条件出場は、この枠数に含めない。

2023・インカレ無条件出場校 (2022インカレランク校)

男子 8校	明治大	愛知工業大	日本大	中央大
	早稲田大	筑波大	関西学院大	立命館大
女子 8校	神戸松蔭女子学院大	立命館大	愛知工業大	東洋大
	日本大	専修大	同志社大	東京富士大